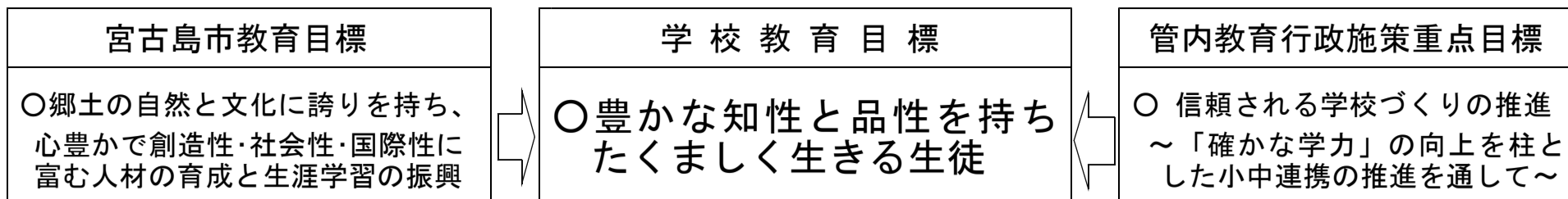


令和2年度 狩俣中学校グランドデザイン



- ◇ 豊かな知性とは → 主体的に学び未来を創造する (知)
- ◇ 豊かな品性とは → 思いやりのある豊かな心 (徳)
- ◇ たくましく生きるとは → 心身ともに健康な体 (体)



【学校経営目標】
「未来を創造し社会を生き抜く力を備えた生徒を育成する」

- 本年度学校経営重点事項**
- 1 全職員で「報告・連絡・相談」を徹底し、同じベクトルで継続性・一貫性のある学校経営と運営に取り組む。
 - 2 知・徳・体のバランスのとれた教育の成果を高めるために、P（計画）D（実践）C（評価）A（改善）のサイクルを全職員が取組、日々の学校改善・授業改善に取り組む。
 - 3 学力向上マネジメント年間計画の長期・短期計画を全職員で取り組む。
 - 4 全職員、教育公務員としての使命感に燃え、研修と実践に努め、生徒・父母・地域住民に信頼される学校と安全・安心な学校経営に取り組む。
 - 5 共通実践事項として「一事徹底」を設定する。今年度は＜ 家庭学習の充実 ＞
 - 6 小中連携の推進
 - 7 「開かれた学校づくり」として、教育活動を保護者や地域に公開する学校経営に取り組む。

本年度教育スローガン
「個に応じた指導の徹底・充実」

[本校のめざす教育像]	
<p>◆ 学校像（生徒一人一人の夢や希望を育む学校）</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 保護者・地域から信頼され、活力のある学校 2 学力が高く、明るく気品のある学校 3 思いやりや感動の心を育み、人権を尊重する学校 	<p>◆ 生徒像（認め合う心で切磋琢磨できる生徒）</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 志高く、目標の実現に向け努力し、学び続ける生徒 2 思いやりの心と正義感にあふれた生徒 3 心身を鍛え、ねばり強く、たくましく生きる生徒
<p>◆ 教師像（使命感と情熱を持ち続ける教師）</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 率先垂範・師弟同行に徹し、教育に対する情熱を高め続ける教師 2 生徒の心に寄り添い、良さを見つけ、褒め・励ます教師 3 生徒や同僚、保護者・地域から信頼される教師 	<p>◆ 学力向上推進プロジェクトで「目指す授業像・生徒像」</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 他者と関わりながら、課題に向かい「問い」が生まれる授業 2 主体的に「問い」をもち、自分なりの考えをもつ生徒 3 他者との交流を通し、「問い」が生まれ自分の考えを広げ深める生徒 4 学びの過程を振り返り、新たな「問い」をもつ生徒

◇指導の重点事項◇（学力向上推進5か年プラン・プロジェクト5つの方策を柱とする）

重点事項	具体的内容	具体的方策
1 道徳教育の充実 〈方策1・2・3・5〉	○ 本校の目指す道徳目標を「思いやりのある豊かな心」と設定し全教育課程で取り組む。 ○ 目指す道徳目標の「資質・能力」を明らかにする。	○ 教科化に向け、道徳会議を毎月各学年1回実施し、推進会議も随時設ける。 ○ 「資質・能力」を明らかにした評価を提示するとともに、道徳科の公開（研究）授業を行う。達成指標（年間時数35時間を完全実施）
2 学力向上推進 〈方策1・2・3〉	○ 県学力向上推進プロジェクトの「方策」を確実に実践する。達成指標（各種テスト70%以上）	○ 道徳授業形態の工夫 ○ 校内研で年間の取組・方策の実施状況を点検する ○ 本校の学力向上推進計画に沿って取組を充実させる。 ○ 校内研修の充実 ○ 言語活動の充実を図る取組を推進
3 教育課程編成の工夫 〈方策4〉	○ 臨機応変に対応できる週時程の実施 達成指標（授業時数100%完全実施）	○ 補習指導（バリバertime）の週時程位置づけと生徒と関わる時間の確保 ○ 各種会議・運営委員会の定期実施 ○ 朝読書の奨励
4 学習を支える力の育成 〈方策4〉	○ わだつみ日誌の継続とわだつみ集会の開催 達成指標（アサニガラ運動各項目90%以上）	○ 学習規律・生活態度の自己点検を徹底（アサニガラ運動推進） ○ 学力向上フォーカスシートに係る点検評価
5 集団づくり・自主性を高める取組の充実 〈方策5〉	○ 支持的風土をつくる学級経営と生徒指導の充実 ○ 主体的な生徒会活動の充実 達成指標（学校生活アンケート各項目90%以上）	○ ボランティア活動の推進 ○ 信頼関係の構築と主体的・対話的な学びの実践 ○ 「生徒指導の三つの機能」①自己存在感②共感的な人間関係③自己決定の場の機会を与える。
6 特別支援教育の充実 〈方策3・5〉	○ キャリア教育の視点に立った進路指導の充実 ○ 特別支援教育研修会の実施と定期的な特別支援教育校内委員会の開催	○ 外部人材活用・生き方講話・進路講話・福祉体験の充実 ○ 全職員協働体制で取り組む ○ 個別支援指導計画による支援体制の構築 ○ 特別支援教育支援員の有効活用
7 部活動奨励・保健指導の充実 〈方策4〉	○ 自己の体力・健康管理・食育指導の充実	○ 外部人材等を活用した健康教育の充実 ○ 家庭と連携した健康教育の充実 ○ 小中合同保健委員会の実施 ○ 年間を通して計画的な体力づくりに努める。